

Publication: 中外文廣告 Concierge  
Date: 2010.5  
Section/Page: P12  
Size: Full Page  
City: 北京 beijing



廣告

# What's Up Beijing

北京が舞台の  
イベントレポートを  
一挙にお届け!



1. 開幕式の様子。協賛している在中國フランス大使館関係者は「フランスと中国のダイナミックなユニットを願う」と挨拶
2. 榮榮(左)&映里さん
3. 2010年度三影堂攝影賞の授賞式の様子。賞状賞には王歎さんが受賞し、「自身の作品が展示された、それだけでも感激です」とコメントした
4. 開幕式にはおよそ2,000名以上の海外メディア、アート関係者が集まった
- 5~7. 三影堂攝影藝術中心にて、受賞作品およびノミネート作品が展示されている
8. メディア向けの草場地巡りも行われた

## アルルから北京へ! 「草場地春の写真祭」いよいよ開幕

—2010年草場地攝影季“阿尔勒在北京”

第1回「草場地春の写真祭2010」が、40年の歴史を持つフランスのアルル国際写真フェスティバルとの提携の下、開幕した。舞台となったのは、今やアートギャラリーやアート関連企業が集まる場として名を馳せる草場地。写真表現の場を提供することを目的に、20余りのギャラリーが参加している。4月17~21日に行われたオープニングイベントでは、レクチャーやライブなどさまざまなイベントを展開。17日のセレモニーでは、写真祭の発起人であり三

影堂攝影藝術中心ディレクターでもある、写真家の榮榮&映里(ロンロン&インリ)さんが「写真を通じた国際交流の舞台として、草場地の名を世界的に広めたい」とコメントした。今回の写真祭の審査員を務めた写真評論家の飯沢耕太郎氏は「中国では80年代生まれの写真家のレベルが均一化されてきた。この先さらにいい作品が期待できる」と語った。今後3年間の予定で行われる写真祭からは、中国人の目に映る社会の一端を垣間見られるかもしれない。

### Memo

#### 「草場地春の写真祭2010」

「三影堂攝影藝術中心」と「思想手計画」の共同企画により開催される大規模な国際写真祭。今年から3年間、ヨーロッパ最大級の国際写真祭「アルル国際写真フェスティバル」と提携し、「中仏文化の春」活動の一環として開催される。クオリティの高い作品に触れられる、貴重な機会だ。

三影堂攝影藝術中心  
朝陽区草場地155号A  
www.ccdphotospring.com

## 北京合気道吾勝館が説く心身統一術 中国に日本の武道をPR!

3月27~28日、北京合気道吾勝館(AGATSUKAN)主催の「日本祥平塾合気道北京講習会」が北京海淀体育館にて開催された。指導したのは同会道場長代行の菅沼克彦氏。講習会のほか、昇級昇段審査や有段者講習会、無料体験講

習会などが行われた。講習会では菅沼氏が準備体操から技での力の使い方に至るまで指導し、参加した未経験者、初心者も合気道のイロハを理解したようす。菅沼氏は「今回の体験活動を通して、少しでも合気道の魅力を感じてほしい」と語った。



北京合気道吾勝館に所属する6カ所の道場の会員が集。年齢も国籍も異なるが、「合気道が好き」という気持ちが会員の心をひとつに指導に当たった菅沼克彦氏(写真左)

### Memo

#### 日本古来の総合武術 合気道が海を越える!

2003年3月に設立した非営利性の道場、北京合気道吾勝館。「戦いに勝ち、己の弱さを克服する」という意味を込めた「正勝、吾勝、速日勝」がモットーなのだとか。自身を鍛える方法として、始めてみるのいいかも?

【問合せ】www.wushengguan.com

